



新羽小だより

令和5年(2023年) 2月28日

第586号

横浜市立新羽小学校

Tel 543-8871 Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa/>

「わたしがかがやき みんながかがやく 新羽の子ども」



～さらなる進化をめざして～

校長 佐藤 恵子

新羽小の紅梅が可憐な花を咲かせ、春を告げています。令和4年度もあと一か月となりました。

2月13日の学校報告会へのご協力ありがとうございました。学校からは、学校評価アンケート結果をもとにした考察や各学年で主に取り組んだこと、そして来年度の主な学校行事についてお話をしました。新学習指導要領による新カリキュラムの全面实施となり3年が経過しますが、時代の大きなうねりの中、新羽小では、常に新羽の良さを大事にしつつ、安心安全で、児童が主体的に取り組める学校行事について検討を重ねたり、授業改善に取り組んだりしながら教育課程を展開してきました。

標題にある「わたしがかがやき みんながかがやく 新羽の子ども」は本校の学校教育目標であり、「横浜教育ビジョン 2030」に掲げられた横浜がめざす人づくり「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の**新羽小版**です。自分を大切に、相手も大切に、ともに高め合う新羽の子どもたちが、新羽から広い社会の扉を開いていこうという思いを込めています。「横浜教育ビジョン 2030」は、2030年頃の未来社会の姿や新学習指導要領の考え方を踏まえて策定されました。その中心となる教育理念として、自分たちができることを考え、他者と協働しながら、社会や未来に目を向け、主体的に生きていく力の育成を目指しています。

今年度本校は、特に力を入れて育成したい資質・能力を「コミュニケーション能力」と「持続可能な社会に貢献する力」として、対話的な学習活動を多く設けることや、地域の力を学校教育に取り入れ、社会の文化・歴史・未来の姿を自分事として受け止める機会の充実に努めてきました。話し合い活動や異学年交流(なかよし交流)の活性化、「幼保小交流」「小中交流」「たけのこ掘り」「わら蛇づくり」などコロナ禍以前の学習活動の復活は大きな成果でした。しかし、最も大切なことは日々の活動を通して一人ひとりの子どもたちが何を高め何を身に付けたかにあります。学習指導要領では、子どもの成長を支える一つの柱として、主体的に学習に取り組む姿勢が示されています。「自分でやってみたい」「何だろう、面白そう」「勉強してみたい」という気持ちで学習に取り組んだかどうかで、一つの活動から得るものの大きさが変わってきます。達成感や充実感の高揚とともに自尊感情を育てる素地とも言えます。令和4年度の教育課程を振り返るとき、その学ぶ姿勢づくりへのアプローチをどのように工夫したか、主体的に取り組む姿勢を高めることができたのか、学校全体で振り返り、令和5年度の学校教育目標「わたしがかがやき みんながかがやく 新羽の子ども」がさらに進化できるように、指導・支援の改善に努めていきたいと考えます。

